

【第2号議案】

育てるけん 伊予の国から 緑の宝

第76回

全国植樹祭 えひめ 2026

実施計画

(最終案)



第76回全国植樹祭大会ポスター原画



愛媛県

第1章 開催概要

1. 開催意義	2
2. 開催理念	3
3. 開催日	4
4. 主催	4
5. 開催規模	4
6. 開催会場	4
7. 大会テーマ	6
8. シンボルマーク	6
9. 大会ポスター原画	6
10. 大会テーマソング	6

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	7
2. 式典運営計画	7
3. 式典進行計画	8

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	13
2. お手植え計画	13
3. お手播き計画	15
4. 代表者記念植樹計画	17
5. 招待者記念植樹計画(式典会場内)	17
6. 招待者記念植樹計画 (久谷ふれあい林)	17
7. 第76回全国植樹祭 メモリアル植樹計画	18

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	19
2. 施設配置計画	19
3. 主要施設計画	19
4. 案内・誘導計画	21
5. 飾花計画	22
6. 音響・映像システム計画	22
7. 電気・給排水・通信設備計画	22

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	23
2. 招待計画	23
3. 受付計画	24
4. 特別接伴計画	25
5. 作品御覧計画	25
6. 御懇談計画	25
7. 昼食計画	26
8. 会場おもてなし計画	26
9. 医療・衛生計画	26
10. 消防・防災・警備計画	27
11. 雨天時・強風時対応計画	28
12. サテライト会場計画	29
13. 実施本部計画	30
14. 研修・リハーサル計画	30

第6章 宿泊・輸送計画

1. 基本的な考え方	31
2. 宿泊計画	31
3. 輸送計画	31
4. 運行管理体制	32
5. 道路交通対策	32

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	33
2. 荒天時会場	33
3. 開催規模	33
4. 荒天時運営計画	34

第8章 記念事業・関連事業計画

1. 基本的な考え方	37
2. 記念事業	37
3. 関連事業	38

第9章 広報・協賛計画

1. 基本的な考え方	39
2. 広報計画	39
3. 協賛計画	40

1. 開催意義

愛媛県は、霊峰石鎚山を頂点とする四国山地と多島美を誇る瀬戸内海、リアス海岸を擁する宇和海等、美しく豊かな自然と穏やかな気候に恵まれ、その林業に適した環境は、良質な木材を育ててきました。

また、戦後の荒廃した国土の緑化と復興資材を供給するため、先人たちが積極的に植林に取り組んできた結果、森林が県土の約7割を占め、その約6割がスギやヒノキ等の人工林となっており、豊富な森林資源を背景として、県内の林業や木材産業は大きく発展し、全国有数の林業・林産県へと成長しました。

現在、スギやヒノキ等の人工林資源は充実し、これら豊富な森林資源を健全な姿で次世代に引き継ぐため、本県では、県民参加の森づくりを推進する「愛媛県森林環境税」の創設や、森林資源の循環利用と関連産業の競争力強化を目指す「林業躍進プロジェクト」を立ち上げるなど、様々な施策を展開しています。

こうした中、令和8(2026)年に、第76回全国植樹祭を愛媛県で開催します。本県での開催は、昭和41(1966)年以来、60年ぶり2回目となり、第76回全国植樹祭を契機として、森林の整備や木材利用に対する県民の理解が一層深まり、SDGsの達成にもつながると期待しています。

第76回全国植樹祭の開催を通じて、本県の魅力を全国に発信する絶好の機会とし、愛媛県ならではの特色ある有意義な大会とします。

本県における全国植樹祭の開催状況

昭和41(1966)年4月17日、昭和天皇・香淳皇后両陛下の御臨席を賜り、温泉郡久谷村(現 松山市久谷町)の久谷ふれあい林において、「精英樹※による拡大造林」を大会テーマに第17回全国植樹祭(当時の名称:第17回植樹行事及び国土緑化大会)を開催しました。

この大会では、両陛下はスギをお手植えになるとともに、県内外から約1万3千人の参加者により約10ヘクタールの広大な原野に約3万本のスギ・ヒノキを植樹いただきました。

また、お手播き行事は、旧県立果樹試験場(松山市東野)を会場に、天皇陛下がスギとクロマツを、皇后陛下がヒノキとアカマツをお手播きになりました。

※精英樹:森林の中で、成長や材質等が特に優れている樹



天皇后両陛下によるお手植え



前回大会当時



令和6年時点

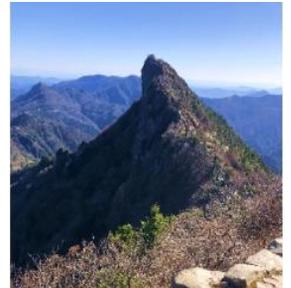
式典会場(松山市久谷町 久谷ふれあい林)の移り変わりの様子

2. 開催理念

- ① 国民の森林・林業に対する理解を深め、森林の整備や森林資源の循環利用を一層推進していく契機とし、持続可能な社会の実現につなげていきます。
- ② 霊峰石鎚山を頂点とする四国山地の豊かな森林を、健全な姿で次の世代にしっかりと引き継げるよう、県民参加による森づくりを推進します。
- ③ 森林が育む愛媛の自然や文化、産業を県内外に発信し、全国の方々との「絆」を深める「愛顔(えがお)」あふれる大会とします。

四国の北西部に位置する愛媛県は、西日本最高峰の石鎚山を頂点とする四国山地を抱え、全般に急峻な地形を呈しています。

主要水系は、瀬戸内海に流れる重信川、肱川のほか高知県を経て太平洋に流れる仁淀川、四万十川の4河川があり、急峻な地形を流れる河川や、その水源を保全する上で、森林はなくてはならない存在になっています。また、森林から流れ出る清らかな水は、農地を潤し、漁業資源の宝庫でもある瀬戸内海や宇和海を育んできました。



西日本最高峰の石鎚山

本県の森林は、戦後復興期の造林に始まり、昭和30(1955)年代の豊富な農山村の労働力などにも支えられ、現在では、スギ・ヒノキをはじめとする豊かな森林が県全域に広がっています。特に、全国に先駆けて育林技術体系を作成し、優良材生産を掲げる「久万林業」や、ヒノキの中でも特に美しさと強さを秘め、素性の良さから最高級建具にも使われる「宇和ヒノキ」等、全国に名を馳せる優れた産地が地域経済を牽引し、森林を支える林業は農山村発展の礎にもなってきました。



優良材生産を掲げる「久万林業」

県内の森林資源をみると、本県で全国植樹祭が開催された昭和41(1966)年当時、51年生以上の森林面積はわずか約2%であったものが、現在では約82%にまで拡大しており、「伐って、使って、植えて、育てる」という資源の循環利用を本格的に推進していく時代になりました。また、質・量ともに優れた森林資源を背景として県内の木材産業も早くから発展し、品質の確かな愛媛ブランド材「媛すぎ・媛ひのき」の生産や、新たな木質建材として期待されているCLT(直交集成板)の本格生産も始まるなど、全国屈指の林産県へと成長を遂げ、私たちの生活になくてはならない木材製品を国内外に供給しています。



全国最大規模のCLT工場

一方で、地球温暖化に伴う深刻な気候変動は全国各地で甚大な自然災害をもたらしており、本県でも平成30年7月豪雨災害の爪痕が深く残る中、県民の安心・安全な暮らしを支えるための災害に強い森づくりが求められています。また、SDGsや2050年カーボンニュートラルの実現など、森林が有する国土保全や水源かん養、生物多様性の保全や地球温暖化の防止といった多面的機能の発揮による経済的・社会的効果は、多方面から大きな期待が寄せられています。

このような状況を踏まえ、私たちの生活を支える豊かな森林を、一人一人が意識し、守り育てながら健全な姿で次の世代に引継いでいくため、開催理念の下、「第76回全国植樹祭」を開催します。

3. 開催日

令和8年5月17日(日)

4. 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
愛媛県

5. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員等を含め、5,000人程度の規模で開催します。
ただし、荒天時は規模を縮小します。

6. 開催会場

(1) 式典会場

式典会場では、各種アトラクションや天皇皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事を実施します。
また、招待者に本県の森づくり活動の取組や、観光・県産品等をPRするおもてなし広場を設置します。

会場名	所在地
愛媛県総合運動公園	松山市



(2) 植樹会場

招待者が記念植樹を行う植樹会場を、式典会場内や前回大会(第17回)の開催地である久谷ふれあい林に設置します。

会場名	所在地
愛媛県総合運動公園(式典会場内)	松山市
久谷ふれあい林	松山市

(3) サテライト会場

多くの県民と開催理念を共有し、大会の開催効果をも高めるため、県直営の「えひめ森林公園」のほか、県内4か所に各市町の特徴を活かしたサテライト会場を設置します。

会場名	所在地
えひめ森林公園	伊予市
イオンモール今治新都市	今治市
大街道商店街	松山市
鬼北総合公園	鬼北町
松野町役場	松野町

■ 会場位置図



7. 大会テーマ

育てるけん 伊予の国から 緑の宝

かい べには
作者：甲斐 紅莓 さん（愛媛県立伊予農業高等学校3年）※学校・学年は応募時

全国から応募があった2,072点の作品の中から、選定しました。

「育てるけん」という愛媛の優しい方言の中に「豊かな森を未来へ引き継いでいこう」という強い意志が感じられ、持続可能な社会の実現や県民参加による森づくりを全国に向けて発信することとしている本大会にふさわしい作品です。

8. シンボルマーク

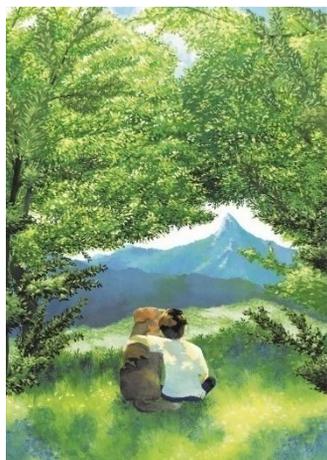


たにもと やすのり

作者：谷本 康則 さん（大阪府在住）※住所地は応募時

全国から応募があった492点の作品の中から、選定しました。
本県の豊かな森、海、段々畑、しまなみ海道が、みかんのシルエットとして一つにまとめられており、森林がもたらす多様な恵みと本県の魅力を上手く表した作品です。

9. 大会ポスター原画



タイトル：「安らぎの地」

しらいし はるの

作者：白石 暖乃さん（愛媛県立松山南高等学校砥部分校3年）
※学校・学年は応募時

県内の小中学校、高等学校等の児童・生徒から応募があった2,288点の作品の中から、選定しました。

愛媛の豊かな森林の中で過ごし、守られている情景が、大会テーマにある「緑の宝」を美しく細やかな遠近感で表現し、爽やかな空気も感じさせる作品です。

10. 大会テーマソング

楽曲名 : Seeds of Tomorrow
作詞・作曲 : HIROYA HIRAI
歌唱・演奏 : LONGMAN



1. 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- (1)参加者が開催理念を共有するとともに、心に残る内容の大会とします。
- (2)式典は、簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- (3)県内外を問わず、子どもや高齢者、障がい者等、できる限り多くの方々と開催理念に賛同いただいた企業・団体等が参加できるよう配慮します。

2. 式典運営計画

式典運営は、次の事項を基本とし、愛媛らしさを感じていただけるものとします。

- (1)参加者の安全性や快適性に十分配慮し、緑の少年団や県内の高校生等の協力を得ながら行います。
- (2)式典進行役、式典アシスタント、式典音楽隊の出演者等については、県内の関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。
- (3)危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成し、研修を行います。



プロローグの様子

(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



記念式典の様子

(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



記念式典の様子

(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



3. 式典進行計画

(1) 式典スケジュール

時間	項目	進行内容
開場	招待者入場	本県PR映像、サテライト会場市町紹介映像、式典案内 等
プロローグ／13:00～14:00		
60分	オープニングパフォーマンス	
	歓迎のあいさつ	松山市長
	プロローグアトラクション	愛媛の森林との出会い「愛が芽生える ～山笑い、私も笑う～」
	感謝状の贈呈	愛媛県知事から「大会テーマ」、「シンボルマーク」、「大会ポスター原画」作者へ感謝状の贈呈
	記念切手の贈呈	日本郵便株式会社から本県へ国土緑化運動記念切手の贈呈
	記念式典案内	
記念式典【天皇皇后両陛下下御臨席】／14:00～15:00		
60分	天皇皇后両陛下 御到着	
	開会のことば	(公社)国土緑化推進機構副理事長
	三旗掲揚・国歌独唱	
	主催者あいさつ	大会会長(衆議院議長)、愛媛県知事
	天皇陛下のおことば	
	表彰	緑化功労者等への表彰
	苗木の贈呈	緑の少年団から農林水産大臣と環境大臣へ苗木の贈呈
	天皇皇后両陛下による お手植え・お手播き	
	代表者記念植樹	特別招待者の代表による植樹
	メインアトラクション	森林への想いを行動へ 「愛を伝える ～明日の森林へ贈る愛レター～」
	大会宣言	(公社)国土緑化推進機構理事長 ほか3名
	リレーセレモニー	次期開催県(奈良県)へ木製地球儀の引継ぎ
	閉会のことば	愛媛県議会議長
	天皇皇后両陛下 御出発	
エピローグ／15:00～15:20		
20分	感謝のあいさつ	砥部町長
	エピローグアトラクション	森林を未来へつなげる「愛を誓う ～みんなで、愛顔で～」

(2)登壇者一覧

No.	登壇者名	出演シーン等
1	大会会長(衆議院議長)	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者あいさつ ③表彰 (国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール) ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	(公社)国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	愛媛県知事	①感謝状の贈呈 ②記念切手の贈呈 ③天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ④主催者あいさつ ⑤表彰(愛媛県緑化関係表彰) ⑥天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑦リレーセレモニー ⑧天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰(緑化功労者) ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	○表彰(全日本学校関係緑化コンクール)
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	(公社)国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	奈良県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事あいさつ
9	愛媛県議会議長	○閉会のことば
10	松山市長	○歓迎のあいさつ
11	砥部町長	○感謝のあいさつ
12	日本郵便(株) 代表取締役社長	○記念切手の贈呈
13	受賞者 ・大会テーマ作者 ・シンボルマーク作者 ・大会ポスター原画作者	○感謝状の贈呈
14	受賞者 ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者代表 ・緑化功労者代表 ・全日本学校関係緑化コンクール入賞校代表 ・愛媛県緑化関係受賞者代表	○表彰

(3)出演者一覧

項目		人数	出演者／団体名
総合司会		1名	武内 陶子
ストーリーテラー		1名	草薨 剛
国歌独唱		1名	石丸 幹二
式典進行役		3名	・愛媛県立三島高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校 ・学校法人済美学園済美平成中等教育学校
手話通訳・要約筆記		7名	・愛媛県聴覚障害者協会 ・愛媛県要約筆記サークル連絡協議会
式典アシスタント		19名	・愛媛県立三島高等学校 ・愛媛県立新居浜商業高等学校 ・愛媛県立西条高等学校 ・愛媛県立今治北高等学校 ・愛媛県立松山商業高等学校 ・愛媛県立東温高等学校 ・愛媛県立大洲高等学校 ・愛媛県立八幡浜高等学校 ・愛媛県立宇和島東高等学校
式典音楽隊(吹奏楽)		80名程度	・愛媛県立松山中央高等学校 ・愛媛県立伊予高等学校
式典音楽隊(合唱)		120名程度	えひめハイスクールクワイア(愛媛県高校選抜合唱団)
その他式典 出演者	介添者 三旗掲揚 苗木の贈呈	70名程度	○緑の少年団 ・朝倉緑の少年団 ・松山市立東雲小学校緑の少年団 ・麻生小緑の少年団 ・大洲東中学校緑の少年団 ・皆田小緑の少年団 ・三島小・戸祇の子緑の少年団 ・篠南緑の少年隊 ○日本ボーイスカウト愛媛県連盟 ○ガールスカウト愛媛県連盟
	大会宣言	3名	・大洲市森林組合 三瀬 範芳 ・愛媛木材青年協議会 成瀬 政樹 ・愛媛大学大学院生 秋本 真子
	オープニング パフォーマンス プロローグ アトラクション メイン アトラクション エピローグ アトラクション	110名程度	○久万山五神太鼓保存会 ○石鎚立螺之会 ○三坂馬子唄 ・篠笛 阿部 一成 ・歌唱 里 アンナ ○ダンスパフォーマンス ・愛媛県立松山東高等学校 ・愛媛県立松山南高等学校 ・愛媛県立松山北高等学校 ・愛媛県立松山中央高等学校 ・愛媛県立東温高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校 ・学校法人済美学園済美高等学校 ・学校法人松山東雲学園松山東雲中学・高等学校 ○合唱 ・松山少年少女合唱団 ○メッセージ発信者 ・緑の少年団(皆田小緑の少年団) ・菅 千春(林業関係者) ○大会テーマソング歌唱 LONGMAN ○書道パフォーマンス ・愛媛県立松山東高等学校 ・愛媛県立伊予高等学校 ・愛媛県立松山西中等教育学校
合計	420名程度		

(4) 式典演出の概要

あした もり あく らぶ 明日の森林へ贈る愛レター

式典中のアトラクションは、「明日の森林へ贈る愛レター」をテーマに、愛が芽生え成熟していくステップに重ね合わせた一貫したストーリーで展開します。

愛媛らしいパフォーマンスを交えながら、県民の森林への想いや次世代へつなぐ森づくりを全国に発信します。

総合司会



武内 陶子 さん
(フリーアナウンサー)

ストーリーテラー



草薙 剛 さん
(俳優・歌手・タレント)

国歌独唱



石丸 幹二 さん
(俳優・歌手)

プロローグアトラクション

愛媛の森林との出会い 愛が芽生える ～山笑い、私も笑う～

愛媛の森林と出会い、想いを深めていくことで、愛顔えがおの輪が広がっていくさまをパフォーマンスを交えて表現します。

- オープニングパフォーマンスでは、久万山五神太鼓がインパクトのある演奏で式典の開幕を告げ、一気に愛媛らしい雰囲気を引き込みます。
- 西日本最高峰の石鎚山の修験者による法螺貝の音色でプロローグアトラクションが始まり、愛媛の山々とその豊かな自然が、人々の生活に深く関わり、愛顔えがおをもたらしている様子を映像で紹介します。
- 三坂馬子唄(篠笛・歌唱)の披露などを交えながら、愛媛の林業の歴史を振り返り、林業・木材産業の未来に向けたオール愛媛の取組を知り、愛媛の森林・林業への理解を深めるきっかけとします。
- 明るい春の森林をイメージしたダンスパフォーマンスで、森林へ感謝し、森林への愛が芽生えていくさまを表現します。
- 森林への愛を次の世代へつないでいくために、少年少女合唱団による合唱や緑の少年団による苗木の運び入れを交えつつ、ストーリーテラーの草薙剛さんが、愛媛の森林のために一歩踏み出す大切さを伝え、このあとの記念式典へとつなげます。



【篠笛:阿部 一成 さん】



【歌唱:里 アンナ さん】

記念式典

緑化功労者等の各種表彰、苗木の贈呈、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を実施します。



各種表彰



お手植え



お手播き



苗木の贈呈



リレーセレモニー

(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

メインアトラクション(記念式典内)

森林への想いを行動へ 愛を伝える ～明日の森林へ贈る愛レター～

愛顔あふれる愛媛から、森林への想いを全国へ力強く発信します。

- 「愛のくに」であり「言葉の文化」が豊富な愛媛県ならではの、県民主体の取組である「明日の森林へ贈る愛レタープロジェクト」で寄せられた愛レターを紹介します。
- 愛レターを基に制作された大会テーマソングの演奏に合わせて、県内の高校生による書道パフォーマンスで愛媛の森林への想いを力強く発信します。

エピローグアトラクション

森林を未来へつなげる 愛を誓う ～みんなで、愛顔で～

愛媛の森林への想いを、全国からの招待者や出演者全員で共有し、オール愛媛で、森林への想いを未来への行動へとつないでいくことを誓います。

- 林業従事者による森林への愛や木材への想い、未来に向けた決意を発信します。
- ストーリーテラーの草薨剛さんと国歌独唱の石丸幹二さんからのメッセージを通じて、一人一人が森林への想いを未来に行動につなげていくことの大切さを共有します。
- 出演者全員が登場し、全国からの招待者も巻き込んで、アレンジされた大会テーマソングの壮大な演奏でフィナーレを迎えます。

1. 基本的な考え方

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や立地条件に適した県民に親しみのある樹種を植樹します。
- (2) 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものをを使用することを基本とします。
また、苗木のスクールステイにより、苗木づくりの段階から多くの県民に参加いただきます。
- (3) 県民との協働による森づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、できる限り多くの方々に植樹に参加いただけるよう配慮します。

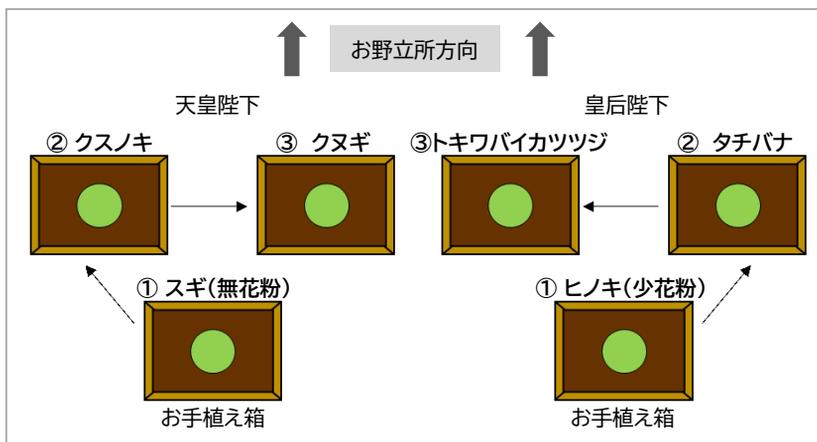
2. お手植え計画

- (1) 天皇皇后両陛下にお手植えを賜ります。
- (2) お手植え木は、大会の開催を記念し、県土を育む豊かな森づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。

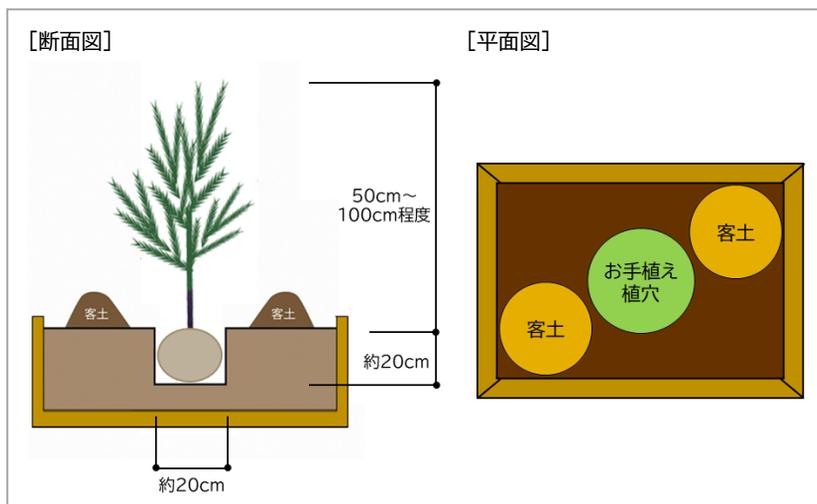


天皇陛下によるお手植え
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

■ お手植え樹種配置図



■ お手植え標準図



■ 天皇陛下お手植え樹種(3種)

スギ(無花粉) / 愛媛県の林業における主要樹種

本県の林業、木材産業を支える常緑針葉樹であり、県内人工林のおよそ半数を占めています。

県では、無花粉のスギ優良品種を選抜するなど、花粉症への対策にも力を入れるとともに、県産スギ材のうち、県独自の品質基準を満たす製品を「媛すぎ」としてブランド化し、国内外への販路拡大に取り組んでいます。



クスノキ / 愛媛県内に樹齢2000年以上の長寿木が存在

県内の照葉樹林を構成する常緑広葉樹であり、公園等によく植栽され、広く県民に親しまれています。

生長が早く丈夫で寿命が長い為、各地に多くの巨樹・名木が残り、地域のシンボルとなっています。

今治市大三島町の大山祇神社にある伝承樹齢2600年の御神木をはじめ、境内の30本あまりが国の天然記念物に指定されています。



クヌギ / 愛媛県における特用林産物の生産を支える樹種

県内の里山林を代表する落葉広葉樹であり、昭和35(1960)年頃までは、薪炭材として一般家庭の暖房や炊事等に活用されていました。

現在でも、全国屈指の生産量を誇る「原木乾しいたけ」の栽培用ほだ木のほか、茶の湯用高級炭として全国に名を馳せる「伊予の切炭」の材料として利用されるなど、本県の産業を支えています。



■ 皇后陛下お手植え樹種(3種)

ヒノキ(少花粉) / 愛媛県の林業における主要樹種

本県の林業、木材産業を支える常緑針葉樹であり、県内人工林のおよそ半数を占めています。

本県は全国トップクラスのヒノキ素材生産量を誇り、国内有数のヒノキ生産地としての地位を確立しています。

県産ヒノキ材のうち、県独自の品質基準を満たす製品を「媛ひのき」としてブランド化し、国内外への販路拡大に取り組んでいます。



タチバナ / 愛媛県内に自生する野生の柑橘

伊豆半島以西の太平洋側から沖縄にかけて自生する常緑広葉樹であり、常に葉が生い茂る様子などから、古くから長寿や繁栄の象徴として縁起物とされてきました。

「柑橘王国えひめ」にゆかりが深く、本県では、南予地方にわずかに自生しています。

初夏に咲く白い五弁花は、文化勲章の意匠として採用されています。



トキワバイカツツジ / 愛媛県のみ自生する希少樹種

本県固有の常緑広葉樹で、4月下旬から5月上旬に淡紅紫色の花を咲かせます。

自生地は全国で宇和島市の1ヶ所のみと、分布が極めて限定されており、県の条例により特定希少野生動植物に指定されています。

同市にある南楽園では、生息域外保全のため植栽されたものを観賞することができます。



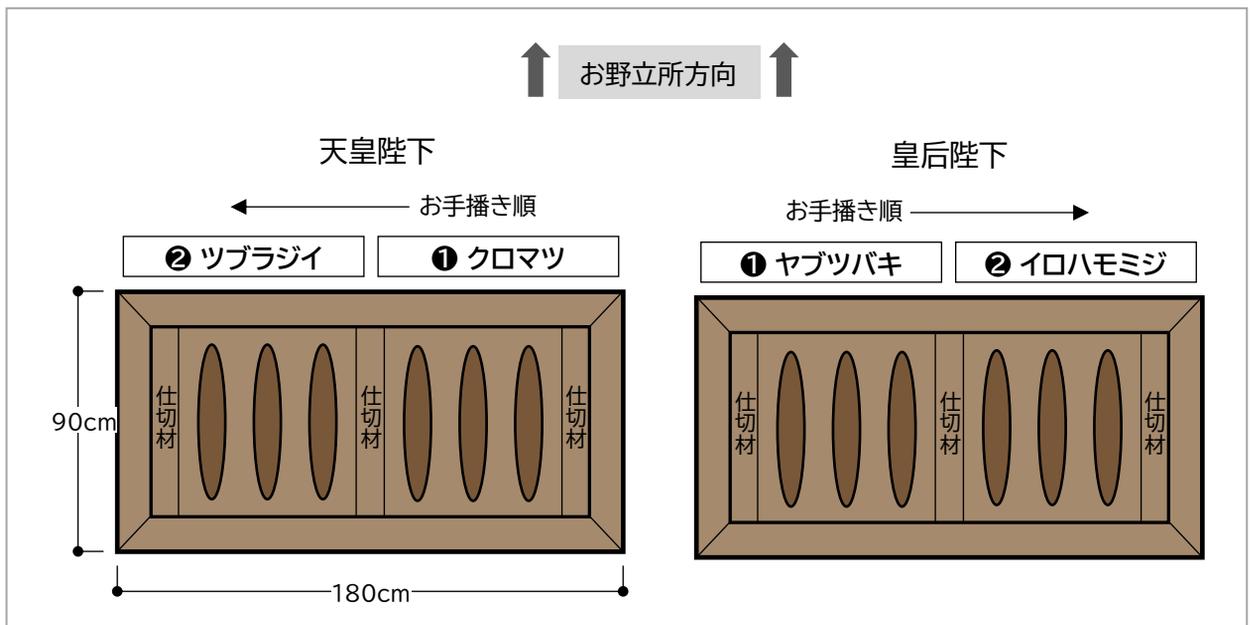
3. お手播き計画

- (1) 天皇皇后両陛下にお手播きを賜ります。
- (2) お手播きされた種子から育成した苗木は、県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。



天皇陛下によるお手播き
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

■ お手播き樹種配置図



■ 天皇陛下お手播き樹種(2種)

クロマツ / 愛媛県の木「まつ」の一種

海岸部の砂浜等に自生する常緑針葉樹であり、本県の木「まつ」の一種として、広く県民に親しまれています。

瀬戸内の海岸部において、美しい白砂青松の景観を構成し、今治市志島ヶ原の松原は国の名勝に指定されています。

明治初期までは製塩用の燃料として、昭和中期までは菊間瓦の生産に利用されていました。



ツブラジイ / 松山城の城山を構成する主要樹種

県内の照葉樹林を代表する常緑広葉樹で、他の同種と比較して果実が丸いため「円ら椎(つぶらじい)」という名前が付けられました。

松山城山樹叢(じゅそう)の構成樹種であり、初夏になると淡黄色の花を咲かせ新緑の中に彩りを添えます。

生長すると樹高25mに及ぶ大木となり、県内複数の市で天然記念物に指定されています。



■ 皇后陛下お手播き樹種(2種)

ヤブツバキ / 開催地である松山市の花

県内の照葉樹林を代表する常緑広葉樹であり、公園や寺社境内等に植栽され、広く県民に親しまれています。

冬から春にかけて咲く赤い花は、開催地である松山市の花に指定されています。

奈良時代に編纂された「伊豫国風土記」には、本種が繁茂する様子を詠んだ句碑文が記載されています。



イロハモミジ / 美しい紅葉により四国山地の秋を彩る樹種

県内の標高300~1300mの林内に自生する落葉広葉樹です。

日本を代表するカエデの一種であり、庭園や寺社境内、住宅の庭木としてよく植栽されています。

秋には、面河溪や小田深山溪谷をはじめ、県内各地で見事な紅葉を見ることができ、広く県民に親しまれています。



4. 代表者記念植樹計画

- (1) 特別招待者の代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に植樹を行います。
 (2) 植樹する樹種は、本県を代表する林業樹種であるスギ・ヒノキとします。



代表者記念植樹の様子
 (©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

5. 招待者記念植樹計画(式典会場内)

- (1) 招待者は、式典会場内でポット等を使用した植樹を行います。
 (2) 植樹する樹種は、本県を代表する林業樹種であるスギ・ヒノキとします。

■ 植樹要領図



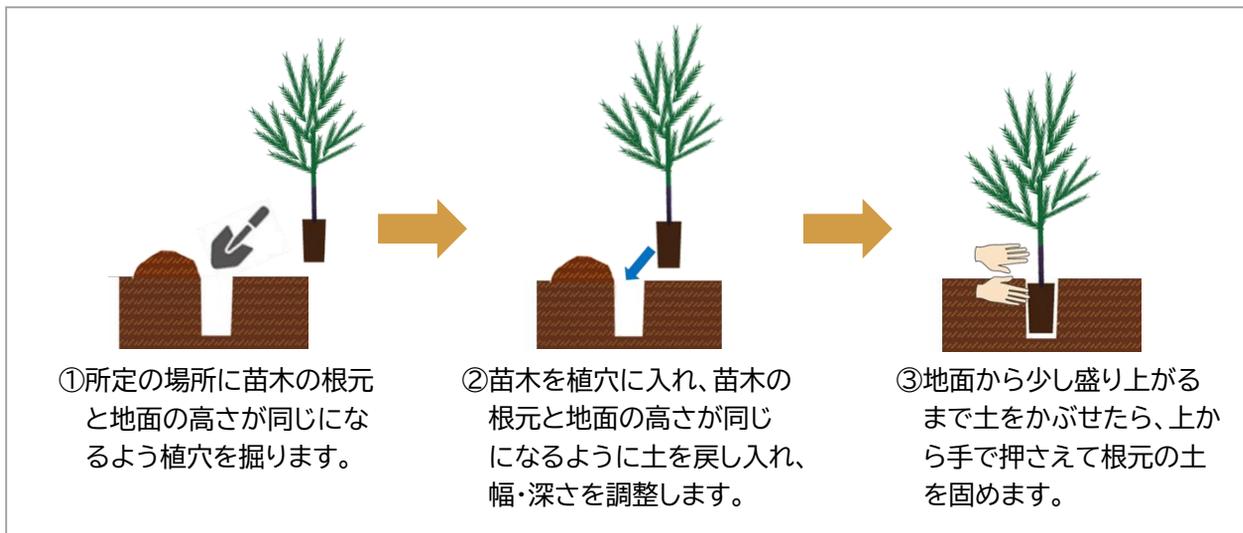
6. 招待者記念植樹計画(久谷ふれあい林)

- (1) 県内招待者の一部は、久谷ふれあい林内で植樹を行います。
 (2) 「苗木のスクールステイ」により県内の児童・生徒が育成した苗木を使用します。



招待者記念植樹の様子
 (©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

■ 植樹要領図



7. 第76回全国植樹祭メモリアル植樹計画

- (1) 大会後の令和8年秋に、久谷ふれあい林において、天皇皇后両陛下のお手植え木をはじめ、記念式典で植樹された苗木を定植します。
- (2) 「ぐるっと植樹祭えひめ」において、県内20市町で市町長が記念植樹した苗木を定植します。
- (3) 本県とのゆかりがある住友グループによる大阪・関西万博「住友館」で、子どもたちが植林体験したヒノキ苗木の一部を定植し、「万博2025の森(仮称)」として整備します。

■ 久谷ふれあい林の概要と整備方針

久谷ふれあい林は、松山市久谷町に位置し、昭和41(1966)年に開催された第17回大会の会場として整備され、現在は森林ボランティア活動の場などとして県民に親しまれています。

本大会では、前回大会で植樹されてから約60年が経ち、利用期を迎えたスギ・ヒノキを伐採し、式典会場整備に利用するとともに、植樹会場とすることで、森林資源の循環利用を象徴する森林となるよう整備を行います。



伐採中・後の久谷ふれあい林
(令和7年時点)

[現況]



[将来イメージ]



1. 基本的な考え方

式典会場の整備は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 自然環境にできる限り負荷を与えないように配慮するとともに、経費削減を図ります。
- (2) 設置する構造物等には、県産材をできる限り使用します。
- (3) レイアウトや建築物等は、周辺の景観との調和を図ることはもとより、安全性考慮し、全ての招待者が安心して参加できるように配慮します。

2. 施設配置計画

式典会場は、式典エリア、本部エリア、おもてなし広場及び入場チェックエリアにゾーン分けします。

■ 式典会場イメージ



3. 主要施設計画

(1) お野立所^{のだてしよ}

- ・県民に広く愛される石鎚山の威風堂々とした姿を取り入れた象徴的なデザインです。
- ・森林資源の循環(「植える」「育てる」「使う」)を三角形で表現します。
- ・県産スギ・ヒノキのCLTを使用して、本県の森林資源の豊かさを表現します。



(2) 仮設工作物

特別招待者席や式典音楽隊席、大型映像装置等の仮設工作物は、原則として県産材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

(3) 会場内工作物

① 県産材の積極的利用

お机や司会台、演台等の木製品には、原則として県産材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

また、県内外からの招待者をお迎えするため、県内高校生の協力により県産材を使用したウェルカムオブジェを製作します。



お机
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



シンボル台、演台
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

② 久谷ふれあい林の伐採木の活用

招待者が利用するベンチ及び式典会場に設置する飾花プランターカバーには、前回大会(第17回)の会場である久谷ふれあい林に植樹されたスギ・ヒノキを使用し、森林資源の循環利用の取組を全国に発信します。

また、プランターカバーの一部は、県内の小中学校、高等学校、特別支援学校等の児童・生徒の協力により製作します。



ベンチ
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)



プランターカバー
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

③ 大阪・関西万博「大屋根リング」CLTの再利用

大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」に使用されたCLTの約8割が本県産であることから、万博協会から、大屋根リング解体後のCLTパネルを無償で譲り受け、天皇皇后両陛下のお歩道や出演者の登壇ステージなどに活用することで、森林資源の循環利用と県内の林業・木材産業の魅力を全国に発信します。



大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」
(©(公社)2025年日本国際博覧会協会)

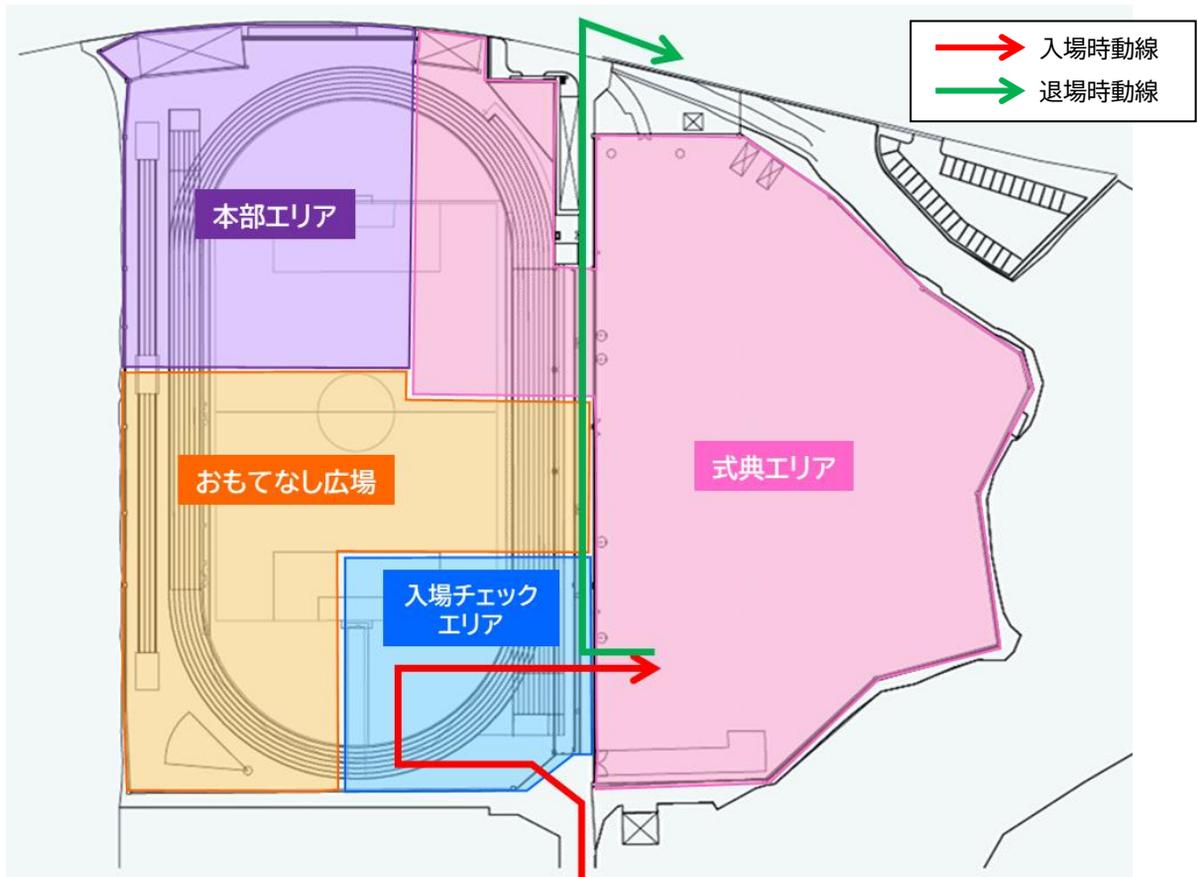


4. 案内・誘導計画

- (1) 招待者が安全かつ円滑に式典行事や植樹行事等に参加でき、各エリアへの移動にも支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- (2) 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、視認性の良い位置、高さに設置します。また、ピクトサイン(絵文字)等を使用します。
- (3) 案内サインには、再利用可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。

設置場所	サイン種別	内容
式典会場	施設	各エリア、施設等の名称を表示した標示板の設置
	誘導	招待者動線上に各エリア、施設等に誘導する標示板の設置
	会場案内図	会場内に現在地の表示を含む、全体図の標示板の設置
	注意事項	招待者動線上に遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等の標示板の設置
	座席	<ul style="list-style-type: none"> 中央特別招待者席は、各座席に名札の貼付 特別招待者入口に座席配置表の標示板の設置 一般招待者席は、バス号車単位で座席に表示
輸送バス	バス号車	添乗員はバス号車を表示したプラカードを掲げ、招待者の誘導
	誘導	会場周辺の動線に従い、バスを招待者乗降位置や駐車場に誘導する標示板の設置

■入退場時の動線イメージ



5. 飾花計画

会場周辺の飾花は、県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線を確認できるよう配置します。

また、飾花の一部は、県内農業関係高等学校の生徒の協力により育成します。

設置区域	内容
式典エリア	会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の動線を明確にするため、飾花を配置
入場チェックエリア	招待者の安全で円滑な誘導ができるよう飾花を配置

種別	内容
プランター飾花	会場の雰囲気を引き立てるとともに、各エリアの区分や招待者の動線を明確にするため、飾花を配置
フラワーアレンジメント	会場を彩るため、フラワーアレンジメントを配置

6. 音響・映像システム計画

(1)音響

- ・演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを設置します。
- ・集音マイクは風対策を施し、質の高い音を再現します。

(2)映像

- ・招待者がどこにいても式典の状況を視認できるよう、大型映像装置を配置します。
- ・大型映像装置を使って、式典の構成や演出を効果的に表現します。
- ・特別招待者席(上手・下手)には、モニターを設置し、大型映像装置と同じ映像を放映します。

7. 電気・給排水・通信設備計画

(1)電気設備計画

会場内で使用する電源は、仮設電源を設置します。

(2)給排水計画

水は施設内より給水し、排水は回収後、適正に処理します。

分類	種類	内容
給水	手洗い水	給水タンク一体型手洗いユニットで対応
	トイレ洗浄水	給水タンクからの水で洗浄
排水	汚水・雑排水	タンク貯蔵し、専門業者により回収・処理

(3)仮設トイレ計画

会場内に適切な数量を設置するとともに、衛生面にも十分配慮します。

(4)通信設備計画

運営を円滑に行うため、実施本部等に携帯電話、トランシーバー等の無線通信機器を適切に配置します。

1. 基本的な考え方

大会運営は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 全国からの招待者をおもてなしの心でお迎えし、大会の開催意義や理念を広く発信する場とします。
- (2) 運営は、市町、関係団体等の幅広い協力が不可欠なため、各団体と連携を図りながら進めます。

2. 招待計画

■ 招待者の区分及び規模

招待者区分		内容	人数
①中央特別招待者		国務大臣、(公社)国土緑化推進機構会長、愛媛県知事、愛媛県議会議員、奈良県知事、奈良県議会議員 等	30 人
②特別招待者	県外	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者 等	220 人
	県内	県議会議員、市町長、緑化功労者、県実行委員会委員 等	200 人
③一般招待者	県外	各都道府県森林・林業関係者 等	900 人
	県内	森林・林業関係者、公募参加者 等	2,150 人
小計			3,500 人
④実施本部員 等		実施本部員、出演者 等	1,500 人
合計			5,000 人

■ 招待者の前日・当日スケジュール

時間	全体進行	①中央特別招待者	②特別招待者		③一般招待者	
			県外	県内	県外	県内
前日スケジュール						
午後		駅・空港 等 ↓ 指定宿泊施設・受付			駅・空港 等 ↓ 指定宿泊施設・受付	
当日スケジュール						
			指定宿泊施設・受付	指定集合地・受付	指定宿泊施設・受付	指定集合地・受付
				記念植樹(久谷)		記念植樹(久谷)
			式典会場到着			
		指定宿泊施設	入場チェック			
	おもてなし広場	昼食 ↓ 会場到着	記念植樹(式典会場内)		記念植樹(式典会場内)	
	完全着席	会場到着	昼食・おもてなし広場自由見学 等			
13:00	プロローグ		招待者完全着席			
14:00	記念式典		プロローグ			
			記念式典			
15:00	エピローグ		代表者記念植樹			
15:20	おもてなし広場	会場出発	エピローグ			
		駅・空港 等 ↓ 指定解散地	おもてなし広場自由見学/順次会場出発			
			指定解散地	指定解散地	指定解散地	指定解散地

※スケジュールは変更となる場合があります。

3. 受付計画

(1) 前日受付

- ・宿泊する招待者は、大会前日に指定宿泊施設で受付を行います。
- ・指定宿泊施設には招待者専用の受付を設置し、円滑なチェックインができるようにします。
- ・指定宿泊施設での受付業務は、原則、実施本部員が行います。

(2) 当日受付

- ・大会当日は、指定宿泊施設や指定集合地で、移動用バスに乗車する前に受付を行います。
- ・IDカードの紛失や大会用品等が不足した場合に備え、入場チェックエリアにIDカード再発行所を兼ねた大会用品等のストックヤードを設け、不足品の対応を行います。
- ・円滑な受付や記念品等の配付が行えるよう、関係者と連携を図ります。

招待者区分		受付日	受付区分	受付場所	業務内容
①中央特別招待者		前日	宿泊受付	指定宿泊施設	・大会用品、記念品等の配付
②特別招待者	県外	前日	宿泊受付	指定宿泊施設	・本人確認(IDカードの発行) ・大会用品、記念品等の配付
		当日	バス乗車 受付	指定宿泊施設	・IDカードの着用確認 ・本人確認
	入場 チェック		式典会場	・手荷物、IDカードの確認 ・入場チェック	
	県内	当日	バス乗車 受付	指定集合地	・本人確認(IDカードの発行) ・大会用品、記念品等の配付
入場 チェック			式典会場	・手荷物、IDカードの確認 ・入場チェック	
③一般招待者	県外	前日	宿泊受付	指定宿泊施設	・本人確認(IDカードの発行) ・大会用品、記念品等の配付
		当日	バス乗車 受付	指定宿泊施設	・IDカードの着用確認 ・本人確認
	入場 チェック		式典会場	・手荷物、IDカードの確認 ・入場チェック	
	県内	当日	バス乗車 受付	指定集合地	・本人確認(IDカードの発行) ・大会用品、記念品等の配付
入場 チェック			式典会場	・手荷物、IDカードの確認 ・入場チェック	

(3) 招待者への配付物

式典の円滑な運営のため、次の配布物一覧に記載する物品を配付します。

- ・大会の開催意義や理念、本県の文化や産業、観光資源等を全国に発信するため、記念品を配付します。
- ・記念品の選定にあたっては、愛媛らしい県産品の活用を図るとともに、環境に配慮したものとし、遠方からの招待者の持ち帰りやすさにも配慮します。

■ 配付物一覧

区分	①中央特別招待者	②特別招待者		③一般招待者		④出演者等	⑤実施本部員等
		県外	県内	県外	県内		
大会用品	大会プログラム	○	○	○	○	○	
	IDカード		○	○	○	○	○
	帽子		○	○	○	○	○
	日章旗	○	○	○	○	○	
	会場持込用透明袋	○	○	○	○	○	○
	雨合羽		○	○	○	○	○
	簡易座布団		○	○	○	○	
記念品	○	○	○	○	○		

4. 特別接伴計画

特別接伴が必要となる招待者には、実施本部員が次の対応を行います。

- ・移動は、借上車両等の乗用車を使用します。
- ・大会前日は、出迎えから宿泊場所への案内まで、常時サポートします。
- ・大会当日は、出迎えから見送りまで常時サポートします。
- ・行動を常時把握できる通信連絡体制を整備します。

5. 作品御覧計画

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び大会ポスター原画を展示し、天皇后両陛下に御覧いただきます。

作品御覧概要

【主催】	(公社)国土緑化推進機構、愛媛県
【開催日】	大会前日(令和8年5月16日(土))
【出席者】	国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者 第76回全国植樹祭大会ポスター原画作者

6. 御懇談計画

天皇后両陛下と、林業の振興や緑化の推進などに功労のあった方々との御懇談の場を設けます。

御懇談概要

【主催】	愛媛県
【開催日】	大会前日(令和8年5月16日(土))
【出席者】	緑化功労者 等

7. 昼食計画

- (1) 県産の食材をふんだんに使用した愛媛らしい献立の弁当を提供します。
- (2) 納入業者は、製造能力、運搬時間・距離等を検討の上、選定します。
- (3) 弁当の製造、輸送、保管及び配付にあたっては、衛生・安全面に万全を期します。
- (4) 弁当等の容器・包装資材は、環境に十分配慮したものを使用します。

8. 会場おもてなし計画

- (1) おもてなし広場を設置し、招待者が安心して快適に過ごせるよう、総合案内所や湯茶接待所、救護所等を配置するとともに、森づくり活動や観光等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや地場産物等を取り揃えた物産販売コーナー等を関係団体の協力により運営します。
- (2) おもてなし広場は、出展者等との協力により、ごみの減量化や環境に配慮した運営に努めます。



おもてなし広場の様子
(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

区分	場所	内容
おもてなし広場	総合案内所	招待者に対する各種案内、情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配付、遺失・拾得物の管理
	湯茶接待所	湯茶及びミネラルウォーターの提供
	みかんジュースコーナー	蛇口からみかんジュースの提供(「柑橘王国えひめ」のPR)
	展示コーナー	県内の森林・林業、観光等の紹介
	物産販売コーナー	県内の特産品や飲食物の販売
	休憩コーナー	休憩用のテントの設置
	臨時郵便局	記念切手の販売や郵便サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護

9. 医療・衛生計画

(1) 医療救護対策

- ・式典会場に応急処置セットや休憩用ベッド等を備えた救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- ・消防署や近隣の医療機関の協力を得て、緊急時の搬送・受入体制を整備します。

(2) 熱中症対策

- ・場内放送で湯茶接待所の案内や、こまめな水分補給を呼びかけ、熱中症に対する注意を促します。
- ・救護所には、経口補水液を備えるなど、適切な処置を行える体制を整備します。

(3) 衛生対策

- ・保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- ・飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺的环境美化に努めます。

10. 消防・防災・警備計画

(1) 基本的な考え方

- ・参加者の安全を確保し、安心して参加できるようにします。
- ・消防、警察、その他関係機関との協力体制を築き、密接な連携を図ります。
- ・危機管理については、責任者を明確にし、迅速な初期対応ができるようマニュアル等を作成します。

(2) 消防・防災

- ・実施本部の安全衛生部(消防防災班・警備班)が中心となり、異常の早期発見及び通報に努めます。
- ・式典会場内は、喫煙所を除いてすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- ・参加者全員が安全に避難できる体制を整備します。

(3) 警備

- ・式典会場内での事件・事故を防止し、大会の円滑な運営を図るため、警察等の関係機関と協力して警備を実施します。
- ・実施本部員等を配置して、警備や招待者の誘導を行います。
- ・入場チェックエリアでは、入場者のIDカード確認や金属探知機等による持ち物検査を行います。
- ・式典会場、駐車場等では、式典使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

【実施体制】

実施本部員から構成される警備班が、専門の警備員と協力して警備を実施します。

【実施期間】

警備実施期間及び重点期間の2段階を設定し、万全の対策を講じます。

- ・警備実施期間:大会開催の準備段階から大会前日まで
- ・警備重点期間:大会当日

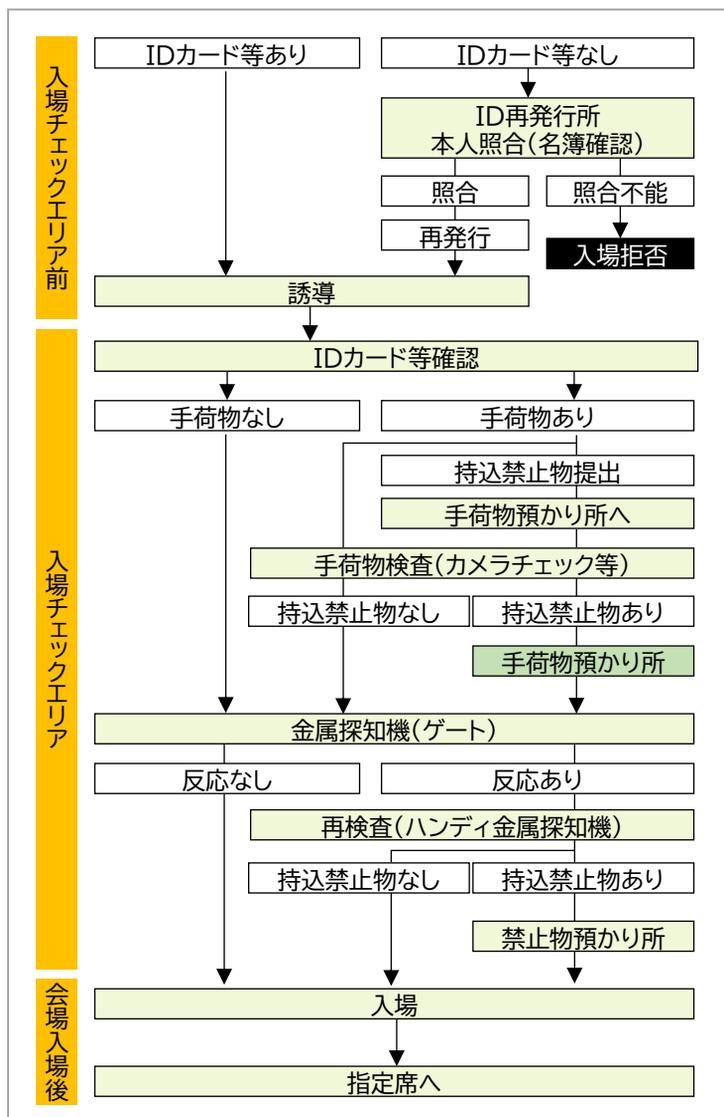
■ 業務内容

実施期間	目的	対策
警備実施期間	施設・備品の保全	・式典会場において夜間警備を実施
警備重点期間	雑踏事故防止対策	・式典会場において警備員及び実施本部員を会場内の要所に配置 ・入場チェックエリアや招待者動線において、滞留が起こらないよう実施本部員等による誘導案内を実施
	交通警備	・式典会場及び植樹会場周辺の主要箇所、警備員及び実施本部員を配置 ・全ての関係車両に大会関係車両証の提示を義務化
	式典中の自主警備	・実施本部員を式典会場内の招待者席付近に配置 ・事案発生時は警察と連携
	立入禁止区域の設定 侵入防止対策	・式典会場内の本部エリア等を立入禁止区域に設定 ・実施本部員等の配置・誘導、ローピング・サイン等により侵入防止対策を実施

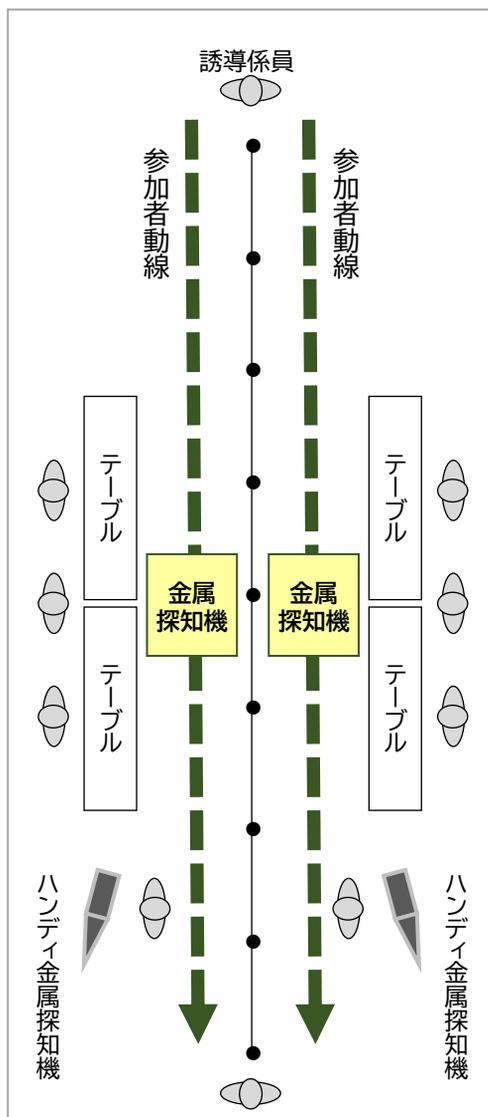
(4) 入場チェック

- ・大会当日に会場へ入場する者は、あらかじめ指定されたIDカード等の着用を義務付けます。
- ・参加者の手荷物は、指定された透明袋に入れての持ち込みを原則とします。
- ・凶器として使用されるおそれのある物品等は、持ち込みを禁止します。

■ 入場管理の流れ



■ 金属探知機周辺図



11. 雨天時・強風時対応計画

- (1) 雨や風の状況に対応した式典スケジュールを策定するなど、雨天時や強風時にも円滑な運営ができるよう準備します。
- (2) 式典の演出は、各出演団体等と協議の上、天候に応じた内容に変更します。
- (3) 式典音楽隊の演奏が不可能な場合は、事前に演奏を収録した音源を使用します。
- (4) 警備上、会場には傘の持ち込みができないため、事前に雨合羽を配付します。

■ 雨天・強風時対策

項目	雨天・強風時運営対策要領
服装	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の注意・禁止事項を事前に招待者へ案内 ・大会用品として事前配付する識別が透けて見える雨合羽を着用 ・履き慣れた滑りにくい靴での来場を推奨
バス乗降 案内誘導 等	<ul style="list-style-type: none"> ・バス乗降場所は晴天時と同様 ・誘導時に使用する案内ブラカードは、雨天時にも使用可能なものを使用
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・火気を使用する喫煙所の巡回を強化

12. サテライト会場計画

- (1)招待者のみならず、多くの県民に大会を身近に感じていただくため、県実行委員会直営の「えひめ森林公園」のほか、今治市、松山市、鬼北町及び松野町が各市町の特徴を生かしたサテライト会場を設置し、式典映像の中継やワークショップ、各種ブースを出展します。
- (2)地域や家庭で植樹してもらうため、来場者の方々に苗木を無料で配布します。

えひめ森林公園(伊予市)

遊歩道やキャンプ場等を備えた緑豊かな森林公園。市街地を見渡せる「結のブランコ」等フォトスポットも充実。

【実施予定内容】

- ・式典映像の中継 ・苗木の無料配布
- ・森の音楽会 ・結のブランコ撮影会
- ・木工体験 ・植樹体験 等



イオンモール今治新都市(今治市)

県北東部に位置する今治市にある大型ショッピングモール。令和8年春に「しまなみ 木のおもちゃ美術館」が開館予定。

【実施予定内容】

- ・式典映像の中継 ・苗木及び花苗の無料配布
- ・記念植樹 ・木工体験 ・木育体験ブース ・郷土芸能イベント
- ・令和7年今治市林野火災復旧復興ブース 等



大街道商店街(松山市)

県都松山市の中心部にある全蓋式アーケード商店街。数多くの店舗が並び、買い物客や観光客等にぎわう。

【実施予定内容】

- ・式典映像の中継 ・苗木の無料配布
- ・ステージイベント ・木工体験 等



鬼北総合公園(鬼北町)

県南西部に位置する鬼北町にある自然に囲まれた総合公園。体育館等のスポーツ施設も整っている。

【実施予定内容】

- ・式典映像の中継 ・苗木の無料配布
- ・木育キャラバン ・2025ミス日本みどりの大使による講演 等



松野町役場(松野町)

県南西部に位置する松野町の役場庁舎。シンボル柱の大径磨き丸太のほか、構造材や内装材に木材を使用。

【実施予定内容】

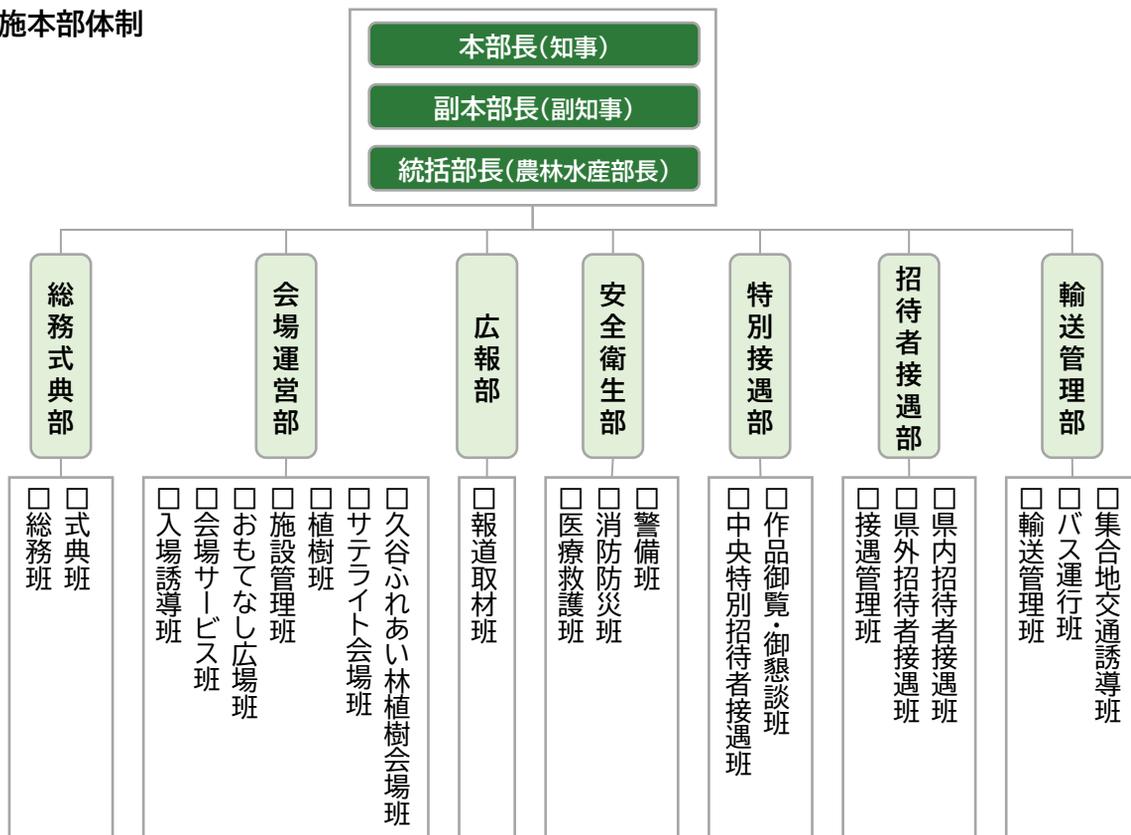
- ・式典映像の中継 ・苗木の無料配布
- ・木工教室 ・林業機械実演展示 等



13. 実施本部計画

- (1)円滑な運営を図るため、「第76回全国植樹祭えひめ2026実施本部」を設置しました。
- (2)県職員や市町職員等の協力を得て効率的な要員の配置を行うとともに、運営の円滑化及び招待者の安全性や快適性の確保に努めます。

■ 実施本部体制



14. 研修・リハーサル計画

- (1)円滑な運営に向けて、実施本部員や出演者を対象とした研修・リハーサルを実施します。
- (2)効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に各班の運営マニュアルを作成し、配付します。
- (3)下記のスケジュールに基づき、全員が業務の内容を把握できるようにします。

■ 研修・リハーサルスケジュール

区分	時期	場所	参加者	内容
①	式典合同 研修会 令和8年 2月23日(月・祝)	県内施設	出演者(式典アシスタント、介添者等)	大会概要・参加内容説明
②	式典 リハーサル 令和8年 4月11日(土)	式典会場	実施本部員 出演者(式典アシスタント、介添者等)	式典行事のリハーサル
③	総合 リハーサル 令和8年 4月25日(土)	式典会場 植樹会場	実施本部員 出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導等
④	荒天時会場 説明会 令和8年 4月28日(火)	荒天時会場	実施本部員	会場確認及び説明
⑤	前日 リハーサル 令和8年 5月16日(土)	式典会場 植樹会場	実施本部員 出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導等

※ 必要に応じて、個別リハーサルを実施します。

1. 基本的な考え方

宿泊・輸送は、次の事項を基本として実施します。

- (1)大会前日、宿泊を要する招待者は、県実行委員会が指定する県内の施設に宿泊することを原則とします。
- (2)大会当日は、原則、指定宿泊施設や指定集合地から県実行委員会が手配する計画輸送バス等により式典会場等に移動することとします。
- (3)指定宿泊施設等の収容人数、宿泊料金、道路状況及び送迎体制を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整備します。
- (4)招待者等を安全で円滑に輸送するため、運行ルート、輸送スケジュール、必要な交通規制等について、関係者で綿密な打ち合わせを行うとともに、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整備します。
- (5)会場へのアクセス道路沿線は、関係市町や県民と協力しながら、美化に努め、招待者を歓迎します。

2. 宿泊計画

- (1)式典行事のスケジュールや道路状況等を総合的に勘案し、適切な宿泊地域を選定します。
- (2)安全に計画輸送バスの乗降ができる場所を確保できる宿泊施設を選定します。
- (3)指定宿泊施設内のフロントやロビー等に専用デスクを設置し、招待者に大会用品(大会プログラム、IDカード、帽子等)等を円滑かつ確実に配付できる体制を整備します。
- (4)指定宿泊施設は、消防法や食品衛生法等の関係法令に基づく基準を満たすことはもとより、緊急時に搬送できる救急病院や対応者、施設内のAED(自動体外式除細動器)の設置状況を事前に把握し、万が一の事故に備えます。



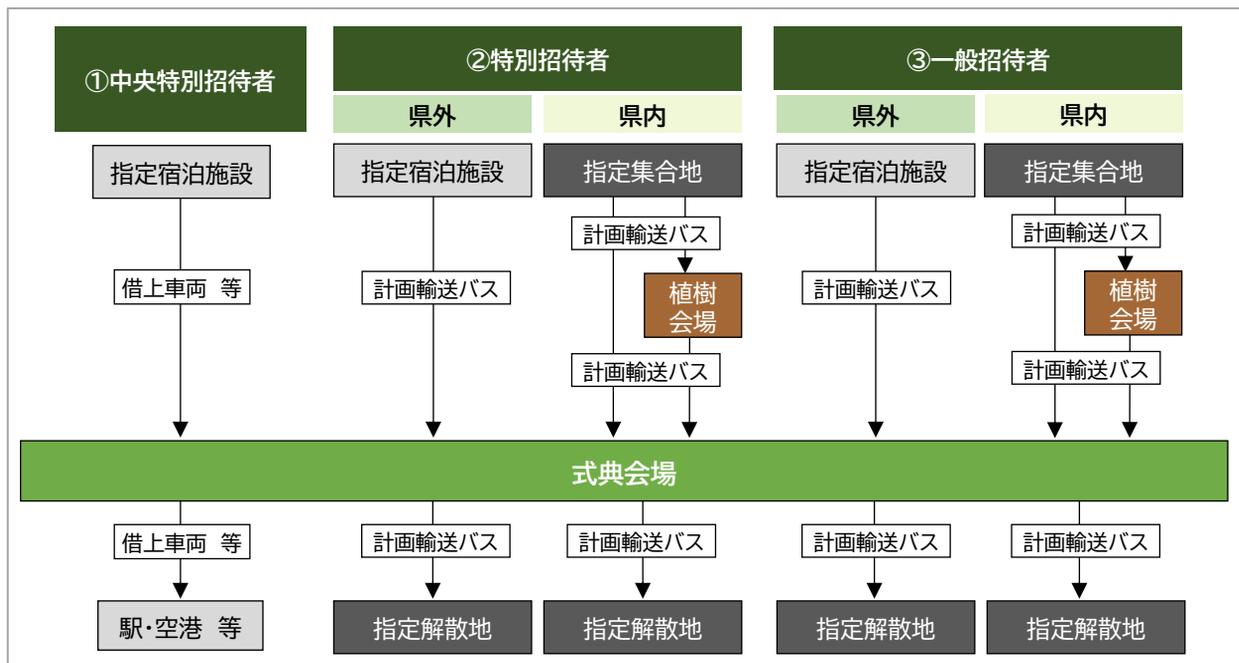
指定宿泊施設の専用デスクの様子(©第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会)

3. 輸送計画

(1)輸送方針

- ・招待者はバスで移動することを原則とし、招待者区分ごとに輸送計画を作成します。
- ・バス事業者や関係機関と協議・検討の上、大会当日の道路状況等のリスクを想定し、招待者を安全で円滑に輸送する運行ルートを決定します。
- ・交通事故や渋滞等の不測の事態に備え、代替ルートや迂回ルートの設定を行います。

■ 輸送フロー



(2)関係車両一覧

招待者区分	輸送手段	同乗者
①中央特別招待者	借上車両 等	接伴員(出迎え・添乗・誘導・見送り)
②特別招待者	計画輸送バス	添乗員(各種案内・誘導)
③一般招待者		

(3)駐車場計画

駐車場は、道路状況等を考慮し、式典会場の近隣地において選定し、確保します。

4. 運行管理体制

- (1)輸送管理本部を式典会場周辺に設置し、運行状況を一元的に管理します。
- (2)車両の運行状況を把握し、安全で円滑な運行体制を実現するため、運行ルート上に休憩箇所及びチェックポイントを設けて確実な運行管理を行うとともに、班員を配置します。

5. 道路交通対策

- (1)会場周辺の道路や招待者の運行ルートにあたる道路は、事前に道路管理者と協議の上、道路占用許可等の必要な措置を講じます。
- (2)招待者、周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。

1. 基本的な考え方

荒天時の式典は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、式典会場での式典が困難であると判断した場合は、荒天時会場で式典を行います。
- (2) 適宜情報収集に努め、式典会場での実施の可否を判断します。
- (3) 荒天時会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

2. 荒天時会場

会場名	所在地
愛媛県武道館	松山市



愛媛県武道館は、県産材をはじめ、菊間瓦、大島石、砥部焼、絹製品等の県産品をふんだんに用いた施設で、平成20(2008)年に開催した第32回全国育樹祭の会場にもなりました。

3. 開催規模

県内外から参加する招待者、実施本部員等を含め、1,500人程度の規模で開催します。

招待者区分	内容		人数
①中央特別招待者	国務大臣、(公社)国土緑化推進機構会長、愛媛県知事、愛媛県議会議員、奈良県知事、奈良県議会議員 等		30 人
②特別招待者	県外	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者 等	220 人
	県内	県議会議員、市町長、緑化功労者、県実行委員会委員 等	200 人
③一般招待者	県外	各都道府県森林・林業関係者 等	900 人
小計			1,350 人
④実施本部員 等	実施本部員、出演者 等		150 人
合計			1,500 人

4. 荒天時運営計画

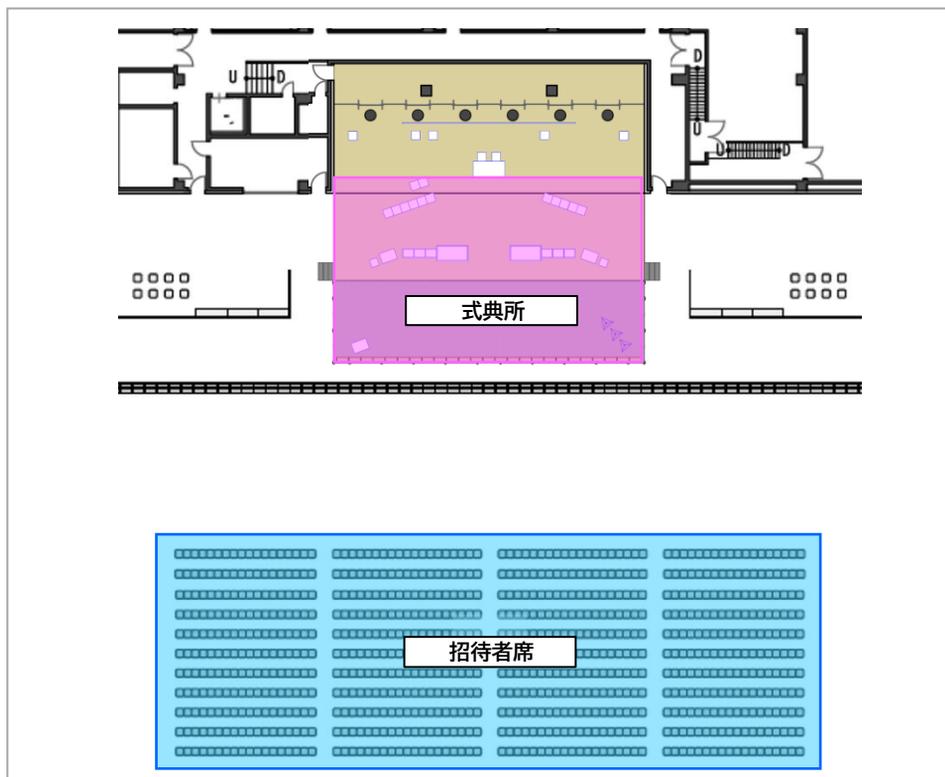
(1) 式典計画

式典の構成は「記念式典」のみとし、代表者記念植樹やメインアトラクションを除いたものとします。

(2) 式典スケジュール

時間	区分	項目
	開場	招待者入場 / 国務大臣、愛媛県知事、奈良県知事、開催市長等 着席
50分程度	記念式典	天皇皇后両陛下 御着席
		開会のことば
		三旗儀礼
		主催者あいさつ
		天皇陛下のおことば
		表彰
		苗木の贈呈
		天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き
		大会宣言
		リレーセレモニー
		閉会のことば
	天皇皇后両陛下 御退席	
	閉場	招待者退場

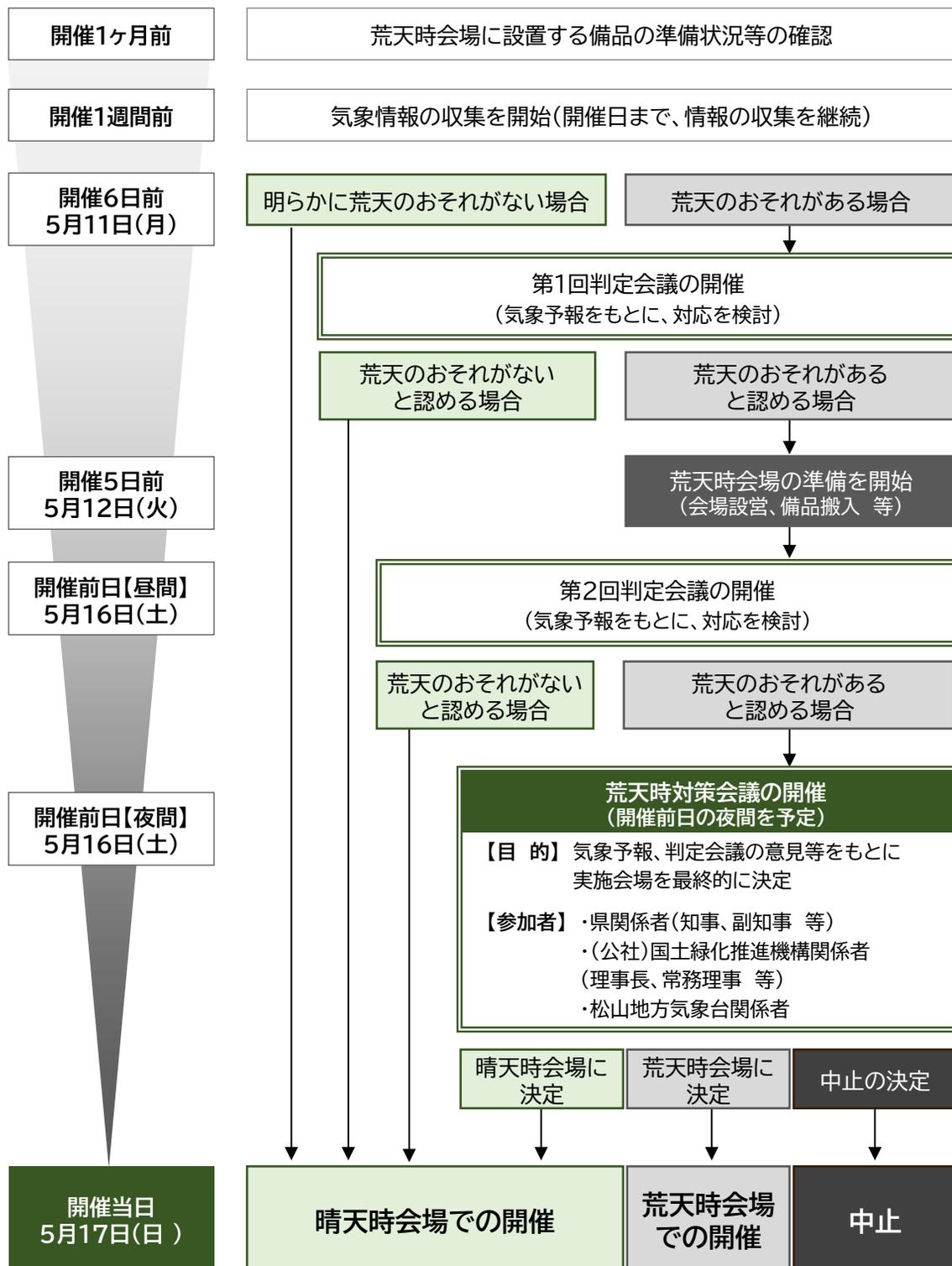
(3) 会場図



(4) 判定会議

- ・大会開催の可否について判断する会議(以下「判定会議」という。)を、必要に応じて設置します。
- ・判定会議のメンバーや召集方法、大会の中止・変更の判断基準と対応について、ガイドラインを策定します。

(5) 対応フロー



※天候の急変等により、変更する場合があります。

(6)招待者への対応

荒天時会場での開催が決定した際には、公式ホームページやSNS等を活用して、速やかに広報します。

荒天時会場となった場合に不参加となる招待者に対しては、その旨を案内状等に明記します。

招待者区分		荒天時対応	
①中央特別招待者		参加	出発時間を変更のうえ、晴天時同様、借上車両等にて移動
②特別招待者	県外		出発時間を変更のうえ、晴天時同様、乗車受付を行い、計画輸送バスで移動
	県内		出発時間を変更のうえ、晴天時同様、乗車受付を行い、計画輸送バスで移動
③一般招待者	県外	不参加	出発時間を変更のうえ、晴天時同様、乗車受付を行い、計画輸送バスで移動
	県内		公式ホームページやSNS等を活用して、荒天時会場での開催が決定した旨を伝達

(7)招待者行動スケジュール

時間	全体進行	①中央特別招待者	②特別招待者		③一般招待者
			県外	県内	県外
14:00	招待者入場開始	指定宿泊施設	指定宿泊施設	指定集合地	指定宿泊施設
		↓	↓	↓	↓
		昼食	会場到着		
		↓	到着後、順次入場チェック		
		会場到着	昼食		
		完全着席	招待者完全着席		
14:50	記念式典	記念式典			
		順次会場出発			
		↓ ↓	↓	↓	↓
		駅・空港等	指定解散地	指定解散地	指定解散地

※スケジュールは変更となる場合があります。

1. 基本的な考え方

大会の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民に広く啓発するため、記念・関連事業を実施します。

2. 記念事業

(1)第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」

大会の開催1年前の時期に、大会の周知や開催機運の醸成を図るため、例年開催している「県植樹祭」にあわせて、記念イベントを開催しました。

【開催日】令和7年6月22日(日)

【開催地】国立大洲青少年交流の家(大洲市)

【内 容】式典、大会テーマソングの発表、ぐるっと植樹祭えひめ出発式、協賛企業ブース出展 等



(2)第76回全国植樹祭 200日前記念「えひめ山の日の集い」

大会の開催200日前の時期に、大会の周知や開催機運の醸成を図るため、例年開催している「えひめ山の日の集い」にあわせて、記念イベントを開催しました。

【開催日】令和7年10月25日(土)

【開催地】エミフルMASAKI(松前町)・えひめ森林公園(伊予市)

【内 容】カウントダウンボードのお披露目、苗木のスクールステイ参加校生徒からの愛^{らぶ}レター 等



(3)第76回全国植樹祭100日前記念イベント(まつやま農林水産まつりとの併催)

大会の開催100日前の時期に、大会の周知や開催機運の醸成を図るため、例年松山市が開催している「まつやま農林水産まつり」にあわせて、記念イベントを開催します。

【開催日】令和8年2月15日(日)

【開催地】大街道商店街(松山市)

【内 容】ぐるっと植樹祭えひめ引渡式、式典音楽隊参加校による合唱 等

(4)ぐるっと植樹祭えひめ(「木製地球儀」の市町巡回展示・巡回植樹)

大会の開催機運を醸成するため、大会のシンボルである「木製地球儀」を県内20市町で巡回展示するとともに、市町長による記念植樹を実施します。

令和7年6月22日に、大洲市(第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」)で出発式を行い、最終巡回地である松山市において、令和8年2月27日に展示終了予定です。



大洲市(第76回全国植樹祭 1年前記念「令和7年度愛媛県植樹祭」)での出発式の様子

(5)苗木のスクールステイ

緑の大切さと森づくりへの関心を高めるため、大会やイベントで植樹する苗木を、県内の小中学校及び高等学校の児童・生徒の協力により育成します。

(6)お手播き種子採取・第76回全国植樹祭プレ植樹

大会の開催に向け、子どもたちに森林の大切さを知ってもらい、大会への参加意識を高めるため、緑の少年団愛媛県連盟が主催する「緑の少年団交流集会」において、お手播き種子の採取やプレ植樹を実施しました。

【開催日】令和7年9月27日(土)

【開催地】えひめ森林公園(伊予市)

【内 容】皇后陛下がお手播きになる「イロハモミジ」の種子の採取、

令和6年度に児童・生徒が「苗木のスクールステイ」で育成したクヌギ苗木の植樹

(7)第76回全国植樹祭メモリアル植樹 (再掲)

大会後の令和8年秋頃に、久谷ふれあい林において、天皇皇后両陛下のお手植え木の他、ぐるっと植樹祭えひめでの植樹木や大阪・関西万博「住友館」の植林体験で使用されたヒノキ苗木等を定植します。

(8)記録誌・記録映像

式典行事や植樹行事をはじめ、各種記念事業等の取組を、記録誌及び記録映像にまとめ、関係機関に配付します。

3. 関連事業

(1)第2回こどもの森づくりフォーラム in えひめ

大会の開催を契機に、保育所・幼稚園等における幼児期からみどりに親しむ取組の普及、促進等を図るため、林野庁や(公社)国土緑化推進機構等と共同して、保育・幼児教育関係者等を対象にフォーラム及びサイドイベントを開催しました。

(2)第54回全国林業後継者大会 愛媛2026

全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りをもって働き続けられる林業の魅力を全国に発信することを目的に大会前日、久万高原町産業文化会館(久万高原町)で開催します。

1. 基本的な考え方

広報・協賛は、次の事項を基本として実施します。

- (1) 広報宣伝や協賛募集の活動を通じて、大会の開催意義、開催理念及び内容や大会に向けた様々な取組等について広くPRするなど、開催への機運を高めていきます。
- (2) 広報媒体の特性を活かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。
- (3) 大会テーマ、シンボルマーク、大会ポスター原画及び大会テーマソングを活用し、大会の開催を県内外に広報します。

2. 広報計画

(1) 明日の森林へ贈る愛レタープロジェクトの実施

広く県民から森林への想いを綴ったメッセージを募り、それを大会テーマソングや式典演出等あらゆる場面に活用する県民参加型プロジェクトを実施します。



キックオフイベント



イベントでのメッセージ募集の様子



路面電車の内装への活用

(2) おうちde植樹祭えひめ(各種イベントへのPRブースの出展)の実施

県内各地のイベントにおいて、大会をPRするブースを出展し、来場された方に苗木を配布します。持ち帰っていただいた苗木は自宅等で植樹いただきます。



実際の様子

(3) みんなde植樹祭えひめ(第76回全国植樹祭応援事業)の実施

県内の企業や団体等が自主運営する森林・林業等に関連するイベントを応援事業として認定し、呼称使用等により大会の周知と機運の醸成を図ります。

(4) インターネット・SNSの活用

公式ホームページやSNSを開設し、様々な取組や関連イベント等に関する情報を積極的に発信します。

(5) 公共広報等の活用

県及び各市町の広報誌や広報番組等の公共広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かな情報提供とPR活動を実施します。

(6) マスメディアの活用

テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関との連携を深めるとともに、大会や関連事業等に関する情報が広く発信されるよう、情報提供します。

(7)第76回全国植樹祭広報誌・PRマンガの発行

広報誌「みきゃんからの^{らぶ}愛レター」・PRマンガを発行し、大会に向けた取組状況や県民参加の森づくり活動等に関する情報を発信します。



創刊号



第2号



第3号

(8)PRグッズの作成・配布

シンボルマーク等を用いた各種PRグッズを作成し、おうちde植樹祭えひめ等で配布することで大会の周知と機運の醸成を図ります。



3. 協賛計画

大会の趣旨に賛同する団体や企業等と協働・連携した開催とするため、県内外から幅広い協力を得る仕組みとして、協賛制度を創設しました。

協賛企業等には、式典会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載するなど、様々な特典を提供します。

(1)資金協賛

大会や各種記念行事等の開催に関わる資金協力

(2)物品協賛

大会や各種記念行事等の開催に関わる物品協力

(3)その他の協賛

役務提供や広告活動等の協力



第76回全国植樹祭 実施計画

令和8年●月

第76回全国植樹祭愛媛県実行委員会事務局
(愛媛県農林水産部森林局全国植樹祭推進課内)

〒790-0002 愛媛県松山市二番町三丁目6-5
電話番号:089-961-1134 ファクス番号:089-961-1145
公式ホームページ:<https://www.syokujusai-ehime2026.jp/>
又は「第76回全国植樹祭」で検索してください

